

## 「主な取組」検証票

施策展開	3-(12)-エ	離島を支える多様な人材の育成		
施策	①離島の産業・生活を支える人材の育成・確保			
(施策の小項目)	○離島の活性化を担う人材の育成			
主な取組	沖縄らしい風景づくり推進事業	実施計画 記載頁	311	
対応する 主な課題	○離島においては、少子化に加え若者の流出が著しいことから、本島に比べ高齢化が急激に進展しており、地域産業や地域づくりの担い手が不足している状況にある。このため、離島産業の活力増大や住民生活の質の向上に貢献し、地域を活性化できる人材の育成・確保が課題である。			

### 1 取組の概要(Plan)

取組内容	良質な景観形成に関する専門的な知識を有する人材育成や技術開発を行うため、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等の育成や亜熱帯蒸暑地域沖縄の気候風土に適した技術研究開発を実施し、風景づくり、景観形成を推進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	プログラム作成	50人講習修了数				→	県
	景観形成人材育成					→	
担当部課	土木建築部 都市計画・モノレール課						

### 2 取組の状況(Do)

#### (1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄らしい風景づくり推進事業	23,350	23,223	平成24年度に策定した風景づくりに係る人材育成計画に基づき、市町村6地区において講習会の開催などを実施した。	一括交付金 (ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
講習修了数			50人	429人
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	平成24年度に策定した風景づくりに係る人材育成計画及び景観向上に係る建築技術等研究開発計画に基づき、市町村6地区において講習会の開催などにより風景づくりに係る人材育成を実施した。計画値の50人に対し、429人が講習会を修了し、風景づくりに係る人材育成及び景観向上に係る建築技術等研究開発が実施されることにより、地域景観の技術的課題解決や良好な景観形成に必要な人材が育成され、沖縄らしい風景づくりに寄与するものと考えられる。			

#### (2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄らしい風景づくり推進事業	55,297	講習会の開催などによる風景づくりに係る人材育成及び景観向上に係る建築技術等研究開発を実施する。	一括交付金 (ソフト)

## 様式1(主な取組)

### (3) これまでの改善案の反映状況

9月補正予算で風景づくりに係る人材育成の経費を計上し、計画通り人材育成を実施した。

### (4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
離島における工芸産業従事者数	415人 (22年)	491人 (24年)	430人	76人	1,707人 (22年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	→	-

状況説明	(参考)工芸産業従事者数の増のあたっては、県民の工芸産業に対する意識向上が必要なため、地域住民を対象に、地域景観を形成する赤瓦等の歴史や修復技術などの講習会を開催する。
------	--

## 3 取組の検証(Check)

### (1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

・現在、地域の風景づくり活動を行う地域景観協議会が組織されていないことから、育成した人材が活動を実施できる体制が十分整っていない。

### (2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・育成した人材が活動できる機会、場を創出するため、地域景観協議会等の設立に向け、市町村及び地域住民との協議に取り組む必要がある。

## 4 取組の改善案(Action)

・地域景観協議会の設立に係る体制整備に向けて、市町村及び地域住民との協議を行う。